

## 平成13年度行事案内

歴史資料館では平成13年度に以下の行事を開催します。各展示会の詳しい内容と各種講座の募集方法については随時市報その他でお知らせします。

多くの方のご来館・ご参加をお待ちしております。

### 秋の特別展

#### 江戸紀行—名所・名物・旅模様

会期 平成13年10月26日～11月25日

江戸時代は現代に通じる旅行ブームの原点といえます。この特別展では、大名から庶民にいたる江戸時代の旅の様子を日記や参勤交代資料などからたどり、旅人の目を楽しませていた名所や名物など旅の光景を紹介いたします。

### テーマ展示

#### I. 新収蔵品展 II

会期 平成13年4月28日～6月24日

#### II. 大分近代の歩み

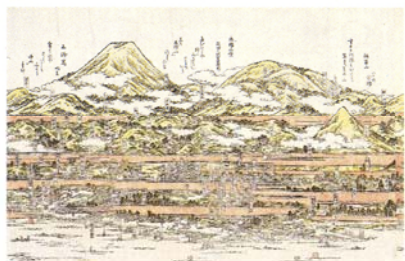
会期 平成13年7月7日～9月24日

#### III. 南蛮文化—大分のエキゾチシズム

会期 平成13年12月8日～平成14年1月27日

#### IV. 中根コレクション

会期 平成14年2月9日～3月31日



特別展 別府湾鳥瞰図巻(部分)



テーマ展 I  
緒方惟栄祖先の図



テーマ展 III 南蛮屏風・部分(模写)

### 各種講座

#### ■ふるさとの歴史再発見

① 歴史のコース 平成13年4月～6月(計9回)

② 考古のコース 平成13年6月～9月(計9回)

③ 民俗のコース 平成13年11月～12月(計6回)

④ 古文書のコース 平成14年1月～3月(計9回)

日時 毎月1・2・3土曜日 14時～15時30分

対象 高校生以上 定員70名 受講料 無料

#### ■ジュニア歴史講座

期間 8月1・2・3日(3日間)

対象 小・中学生

内容 火起こし・勾玉づくり・古代衣装づくりにチャレンジします。

#### ■映像でつづる歴史への旅・ミュージアムシアター

日時 毎月第4日曜日

11時・13時・15時の3回上映

内容 日本の歴史や文化を紹介する映画やビデオを上映します。

#### ■親子体験歴史講座

実施日 原則毎月第4土曜日(5・11・1月は第1)

10時・14時 2回実施

内容 偶数月—火起こし 奇数月—勾玉づくり

※勾玉づくりは事前申し込みと材料費1人200円要

### 編集後記

今年度は資料館の利用拡大をめざして、試行錯誤しながら活動してきた1年でした。その一旦が体験活動の導入であり、本号で紹介したビデオ・ライブラリーの開始です。成果があらわれるにはもうすこし時間がかかるでしょうが、留まることなく21世紀を迎えた新年度も新しい事業を取り入れ、多くの方に利用していただける新世紀にふさわしい資料館づくりに努力していきたいと思っています。(H.O)

資料館ニュース No.54

発行 2001.3.31

大分市歴史資料館

大分市大字国分960番地の1  
〒870-0864 ☎(097)549-0880



# 大分市 歴史資料館ニュース

OITA CITY HISTORICAL MUSEUM NEWS



大友館跡庭園遺構出土状況

## ふるさとの歴史再発見・古文書コース

資料館では毎年1月から3月まで、毎月第1・2・3土曜日の計9回の日程で「ふるさとの歴史再発見・古文書のコース」を開講しています。この講座は古文書の解説をわかりやすく手ほどきすることを目的に、開館2年目から行っています。当初、講座生は40名たらずだったのですが、年々増加し、今年度は108名にものぼり、毎回80名前後が参加されています。

解説のテキストは例年回毎に変えていたのですが、今年度は同じ筆者のくずし字を続けて読むことで、少しでも「読めるようになった」との達成感を味わっていただくこと、「国絵図之儀ニ付覚書」という1冊の古文書を使用しています。この「覚書」は元禄10年（1697）から始まった江戸幕府の国絵図徴収に際して、豊後国絵図の作製責任者であった岡藩・臼杵藩と府内藩間でのやりとりを府内藩側が書き留めたもので、府内藩の藩政史料群中に残されています（「府内藩記録」丙43／大分県立先哲史料館蔵）。

くずし字はそれほど癖もなく、同じ言葉や表現が何度となく繰り返して登場し、また、時間を追って事

### ● 表紙紹介

## 大友館跡庭園遺構

大友館跡は、中世府内町のほぼ中心に位置し、約200m四方（方2町）の館が推定されています。これまでに4地点、延べ9次にわたる調査が実施されており、館の存在を裏付ける遺構群が確認されています。中でも表紙に紹介した庭園遺構は、その契機となったもので、推定館の南東部で確認されました。庭園遺構は東西約83mの規模で確認されていますが、何回かの造り替えが考えられており、最終段階のもの（16世紀後半築造）では、最深部付近を囲む形で安山岩の巨石が配され、東にいくほど高くなり、立体的に配置されていたことがわががせます。また、



講座風景

柄が展開する内容のためでしょうか、講座の後半では例年よりみなさん読めるようになったようです。

この古文書講座を開講して13年、続けて受講されている方にはかなりの上級者もおられ、解説している職員の読み間違いを指摘されることもあります。この講座をつうじて郷土史研究のすそ野が少しでも広がることを願い、今後も工夫を重ね、続けていきたいと思っています。

最深部では一定期間水が溜まっており、池として利用され、庭石はその護岸としての機能もはたしていたと考えられています。池の底からは、漆器や下駄、扇など、有機質の遺物が出土し、そこにはマツカサも多数みられ、庭園内に植栽されたマツの存在が想定されます。庭園自体は16世紀末に廃絶され、庭石群も大規模な破壊を伴って廃棄されています。この段階の遺物には、天目茶碗・茶白などの茶道具に関するものも出土しています。松の植えられた庭園の傍で、大友氏により茶の湯の会が催されている姿が目に浮かんでくるようです。

## 市内発掘情報Ⅱ

本年度最終のテーマ展示「市内発掘情報Ⅱ」を2月3日～3月31日まで開催しました。本テーマ展では、最近もっとも注目されている中世大友の時代の遺物を中心に展示し、この他、昨年度調査された辻古墳や松岡古窯址群などについても紹介しました。以下、遺跡ごとにその概略を説明します。

### 大友館跡・大友中世府内町跡

豊後府内は鎌倉時代以降、豊後国守護大友氏の本拠地として発展し、戦国期には明船やポルトガル船が寄港する日本屈指の貿易都市として繁栄していました。近年の大友館跡や中世府内町跡の発掘調査の成果は、こうした状況をよく物語っており、これまで調査されたほとんどの地点から国際色豊かな陶磁器類が出土しています。展示では、中世府内町跡第3次調査で発見された「甕蔵」跡と考えられている遺構から出土した一括資料を中心に、その他の調査地点で出土した陶磁器を加えて、その国際色がわかるように各国ごとに分けて展示しました。いずれの資料も16世紀後半、九州の雄・大友宗麟が活躍していた時代の品々になります。

また、14世紀代の広域流通品がまとめて出土した、中世府内町跡第6調査の成果についても紹介しました。調査地は、徳治元年（1306）に建立された推定万寿寺跡の南側に位置し、調査の結果、奈良時代から戦国時代（1～5期）の遺構が確認されています。中でも2期（14世紀頃）は、万寿寺が創建された段階の遺構になります。調査区北側の幅3m・深さ2mにも及ぶ大規模な東西にのびる溝は、万寿寺の南側を限る可能性も考えられており、中からは大量の瓦が出土しました。また、古瀬戸や常滑焼をはじめ、日本各地からの多彩な広域流通品がみられます。数々の名僧が訪れたと伝えられる万寿寺ならではの状況を示していると言えます。

### 辻古墳

国指定史跡亀塚古墳（5世紀前半）がある丘陵の

北側に位置しています。墳丘自体は原形をとどめていませんが、調査により確認された周溝から直径約40mの円墳もしくは前方後円墳と考えられています。周溝内には墳丘に葺かれていた葺石や埴輪が落ち込んでいました。この内「衣蓋形埴輪」と呼ばれる埴輪を紹介しました。衣蓋は貴人にさしかける日傘のようなものであり、そのため、権威の象徴としての意味合いをもっていると考えられています。5世紀の後半ごろに造られたこの古墳は、この時期、海部地域の中でもひととき権威を放っていたようです。

### 松岡古窯址群

松岡の丘陵で、豊後ではじめて須恵器の窯跡が4基確認されました。窯跡はいわゆる登窯で、斜面の傾斜を利用し、掘りくぼめ、サス混じりの粘土を張りつけ、天井部をつくる半地下式の構造になります。今回確認された窯跡は奈良時代のもので、当時の役所（国府や郡衙）などに製品を供給していたと考えられています。

### 府内城下町遺跡第12次調査地点

調査地は府内城下町の東南隅の米屋町にあたりますが、中世府内町跡とも重なっており、2時期の生活面が確認されました。1面目が近世城下町期、2面目が中世府内町期です。ここでは江戸時代初めの優品である志野向付や江戸時代の後半に流行した焼継をした染付や、中世-16世紀後半の2条の並列する溝から出土した「光盛」と墨書された土師器などを展示しました。

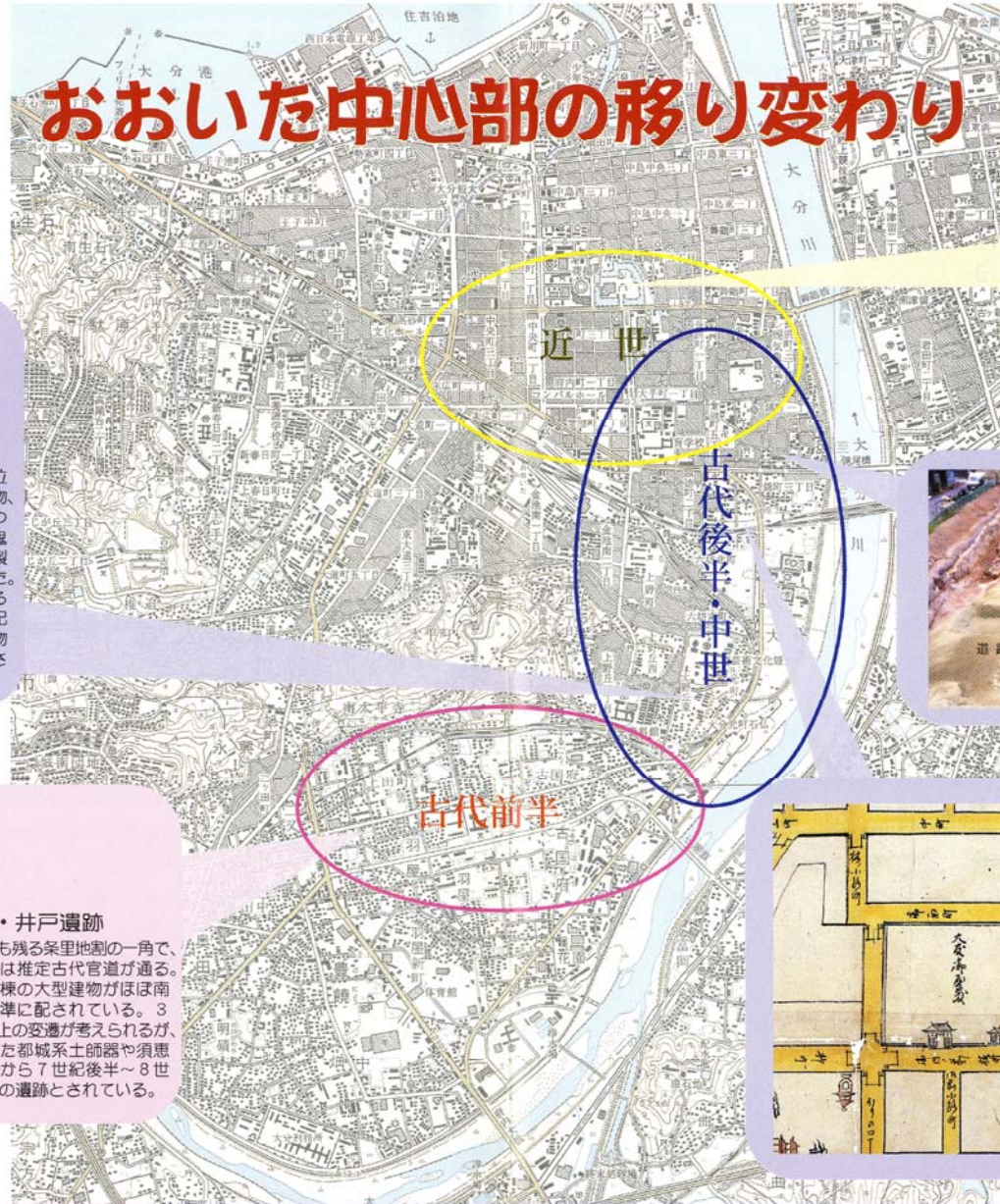


大分市は明治時代以来県庁がおかれ、「県都」として発展してきました。

歴史をひもとけば、その出発点は古く奈良時代までさかのぼることができます。ただ、その中心地域は時代によって移り変わっています。

今回はその変遷を最新の成果をまじえ、紹介しましょう。

# おおいた中心部の移り変わり



## 府内城跡

町の中心部に残る城址公園は府内城本丸と二の丸跡で、江戸時代の大分をしのばせてくれる。ただ、石垣の上に建つ櫓の多くは昭和40年代の再建で、江戸時代の建物は人質櫓（本丸北側）と宗門櫓（二の丸南側）の二つしか残っていないのが残念である。

明治時代になり、大分県ができた時、府内城に県庁が設けられた。県都大分市はここから出発したのである。



## 竜王畑遺跡

上野丘陵東端に位置する。掘立柱建物、築地塀跡などが見つけられ、円面硯・鬼瓦・玉砂利・中国製青磁などが出土した。5段階の変遷がある遺構のうち、9世紀の築地塀を伴う建物群が国司館と推定されている。



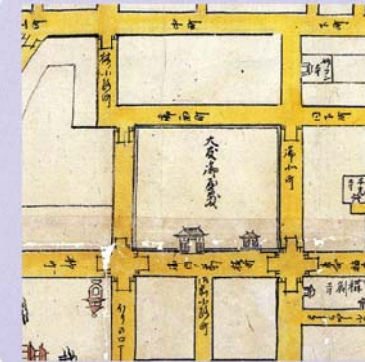
## 中世大友府内町跡

館跡ともに町屋地区の発掘調査も行われている。推定横小路町では幅10mの東西道路跡が出土し、区画割された町並みが整備されていたことがわかってきた。今後の調査により町が作られた時期がさらに明確になることであろう。



## 羽屋・井戸遺跡

現在も残る築地塀の一角で、北側には推定古代官道が通る。総計7棟の大型建物がほぼ南北を基準に配されている。3段階以上の変遷が考えられるが、出土した都城系土師器や須恵器などから7世紀後半～8世紀初頭の遺跡とされている。



## 戦国時代府内町絵図・大友御屋敷數分

戦国時代、大名大友氏の政治・経済拠点として栄えた「府内」を描いた絵図。ただし、その成立は江戸時代。この絵図をもとに推定復元された大友館は約200m四方となる。

平成10年館推定地区の東南隅で石組みを伴う大規模な庭園遺構が出土した。また、西側にL字状に曲がる土塁跡を検出し、初めて館の存在が確認されたのである。その造営は、現在のところ16世紀半ば、大友義鎮（宗麟）が家督を継いだころまでさかのぼることができる。

## 古代前半

奈良時代、現在の大大分市に豊後国の役所＝国府があかれていたのはまちがいありません。その所在地ははっきりわかっていませんが、地名から古国府地区が有力第一候補地と考えられています。しかし、長年の発掘調査でもこの地区では8世紀の遺構や遺物はほとんど確認されていませんでした。そのような状況下、古国府地区西隣の羽屋・井戸遺跡から7世紀後半～8世紀初頭の大規模建物跡が出土し、「大分郡」が成立する以前「大分評」に関わる役所関連施設と考えられています。この発見は、国府跡は見つからないものの、古国府・羽屋地区が古代前半に豊後国内で最重要地区であったことを物語っています。

## 古代後半・中世

国府所在地のもう一つの候補地が、平安時代後期に史料に「高国府」の地名が登場する上野丘陵です。丘陵上の竜王畑遺跡から9世紀の国司館跡と考えられる遺構が出土し、平安時代には国府が上野丘陵に移転した可能性が高まりました。また、丘陵北側の平野部からも9～10世紀の中国製陶磁器が多数発見され、中心地区が古国府地区から北に移ったようです。

国府の力が衰退する中、鎌倉時代後半、豊後守護大友頼泰は国府近くに館を設けたと伝えられています。丘陵上に今も残る館跡（上原館）がそれにあたるかは不明ですが、大友氏が上野丘陵に一拠点を構えていたのは間違いありません。そして、戦国時代には北側平野部にも館をおき、整然とした町を作っていました。町屋地区からは中国や東南アジア製の陶磁器が大量に確認されており、国際貿易として栄えた「府内」の姿をしのぶことができるようになりました。

## 近世

現在、城址公園として残る府内城。ここに城を初めて築いたのは慶長2年（1597）福原直高でした。その後、江戸時代初頭の慶長6年、時の藩主竹中重利が修築に着手、同時に城下の町割を行い、旧府内の町人を移住させたと伝えられています。これにより大分の中心部は再び移転することになったのです。

城下町の規模は東西約1.2km、南北約950m。今の繁華街とほぼ同じ範囲です。つまり、大分市の中心部は江戸時代以降現在までの400年間城下町を基礎に発展してきたのです。

## 大分の歴史再発見ービデオ・ライブラリー

資料館では「大分の歴史再発見ービデオ・ライブラリー」と銘打ち、これまで収集してきたビデオを活用した入館者向けの視聴サービスを始めました。これらのビデオは市内の遺跡や建築物、「浜の市」や「賀来の市」など現在まで続いている祭事の由来など、大分の歴史をさまざまな方面から紹介したもののほかです。展示とあわせ、よりわかりやすく大分の歴史に触れることができると思います。

いずれも20分前後の短編で、アニメもありますのでお気軽に利用してください。

### 利用方法

- 申し込み 受付で申し込み用紙に視聴したいビデオの番号をご記入ください。
  - 利用本数 1回につき3本まで
- ※なお、館内行事のため利用できない場合もあります。ご了承ください。

## ビデオ・ライブラリーリスト

### 1. フレッシュ大分「大分市の歴史を訪ねて」シリーズ

大分市の情報提供番組「フレッシュ大分」で以前放送されたビデオです。女性リポーターと当館の館長や学芸員の対話形式で大分市の歴史を紹介していますので、たいへんわかりやすくなっています。

タイトル	主な内容	時間
1 旧石器時代	大分の土層 ナウマン象 丹生遺跡	14分
2 縄文時代	縄文式土器(作り方、種類) 横尾貝塚	14分
3 弥生時代	大陸との交流(稲作、金属器) 下郡遺跡	14分
4 古墳時代	古墳の種類 古宮古墳 亀塚古墳 滝尾百穴	14分
5 奈良時代	金剛宝戒寺 豊後国分寺 奈良時代の料理	14分
6 平安時代	柞原八幡 元町石仏 岩屋寺石仏 高瀬石仏	14分
7 鎌倉・室町時代	大友館跡 万寿寺 円寿寺 金剛宝戒寺 高崎城	14分
8 大友宗麟全盛～終焉	鮑腸(ほうちょう) 二階崩れの變	14分
9 大友宗麟と西洋文化	賛美歌 南蛮屏風 デウス堂 遊歩公園の銅像	14分
10 府内城	おみわの祠 府内絵図 城址公園	14分
11 江戸時代(1)	テーマ展「府内の殿様 大給松平」 一伯 城下絵図	14分
12 江戸時代(2)	鶴崎、三佐(肥後藩・岡藩の港町)	14分
13 大分の新遺跡	北の後(宗方) 下郡 三之丸 亀塚	14分
14 江戸時代(3)	庶民の生活 農民の生活 井路の開発 浜の市	14分
15 明治・大正・昭和	写真 地図に見る大分 電車 空襲 戦後の復興	14分
16 縄文の生活再現	縄文時代の衣食住(実演)	14分
17 賀来の市の大名行列(1)	練習風景	14分
18 お宝拝見	大友城下町絵図・解体新書・南蛮漆器・古楽器	14分
19 後藤碩田	豊後の博学 東海庵 郷土史研究家 大化帖	14分
20 賀来の市の大名行列(2)	大名行列の由来 本番	14分
21 中国武漢文物展	姉妹都市武漢 時代ごとの解説 編鐘の音色	14分
22 城のある風景	大坂城・府内城	14分

### 2. 大友氏関係ビデオ

タイトル	主な内容	時間
23 大友氏と大分 ～時代をかけた男たち	大友22代400年の歴史	15分
24 豊後路争乱	秀吉 島津 宗麟 丹生島城 戸次川原戦 鶴崎城	12分
25 大友宗麟の夢ームジカの謎	大友宗麟とキリスト教理想国“ムジカ”	12分
26 国際貿易港、海底に没す	沖の浜、慶長の大地震と瓜生島伝説	12分
27 史上最強の島津軍に 勝った女の城	豊薩戦争 吉岡妙林尼と鶴崎城	12分

### 3. 子供むけアニメ

タイトル	主な内容	時間
28 福は内・鬼は外	節分の始まり	12分
29 佐賀民間話「鬼八伝説」	木佐上村が鬼神村とよばれていたわけ	12分
30 福児と弓彦	渡来人との交流・牛乳の始まり	20分
31 筑紫の磐井	大和政権に対する、筑紫国造磐井の反乱	30分

### 4. 「九州街道物語」大分版(各12分)

タイトル	主な内容	タイトル	主な内容
32 中津城物語	水城 天守閣のなぞ	49 策士 清川八郎	九州の倒幕運動
33 佐伯街道	国木田独歩 毛利高政	50 テロリスト河上彦彦	象山暗殺
34 由学館と 田能村竹田	南画家への道	51 隠れた偉人	南一郎平と広瀬水路
		52 謎の大砲製造	賀来一族大砲製造
35 府内商人盛衰記	大富豪山弥長者	53 花山院一党拳兵す	大分の勤皇の志士たち
36 九州偉人伝	広瀬久兵衛と日田	54 三国峠	真野長者伝説
37 その後の忠直卿	松平忠直の一生	55 中津の変	西南戦争と増田宗多郎
38 豊後の賢人 三浦梅園	その哲学	56 竹田報国隊	西南戦争と竹田
		57 るいさの墓の謎	岡藩とキリシタンるいさ
39 安心院 <small>こころ</small> 絵紀行	絵巻のルーツ	58 我70にして脱藩す	帆足万里
40 杵築城下町	坂の城下町	59 苦悩する藩主 中川久昭	豊後岡藩
41 軍神広瀬武夫	人が神になるとき		
42 時代をかけた女性 一卑弥呼	邪馬台国宇佐説	60 尊王倒幕の魁 久留島通晴	豊後森藩
43 双葉山 不滅の69連勝	生い立ち	61 九州偉人伝	ウィリアム・アダムスとリーフデ号
		62 謎の絵師 賀来飛霞	本草学の大家
44 緒方一族のなぞ	緒方三郎惟栄	63 毛利空桑	その思想
45 湯平温泉	山頭火	64 旗本渋川六蔵と スパイ事件	白杵藩
46 安国寺遺跡	国東町		
47 縄文人の足跡	大野川流域	65 謎の織部灯籠	キリシタン灯籠と茶道
48 九重温泉	地名の由来		

### 5. 民俗関係

タイトル	時間
66 草地踊り(豊後高田市)	8分
67 奈多宮 御田植え祭(杵築市)	14分
68 国東の修正鬼会(岩戸寺)	5分
69 西神野風流杖踊り(野津町)	5分

### 6. その他

タイトル	時間
70 館内展示案内	10分
71 小鹿田焼き	34分
72 賀来の大名行列～卯酉の神事	28分
73 御城下絵図～豊後の天下市	15分